

白石地区 地域づくり 協議会だより

2014年12月15日号 Vol. 18

白石地区地域づくり協議会 TEL 083-941-5959
〒753-0046 山口市本町1-1-25 FAX 083-941-5966
白石地域交流センター内 <http://www.y-shiraishi.net/>



中央3丁目 (撮影/吉村哲明)

SL「やまぐち」号臨時運行決定!

SLに向かって手をふろう!

沿線で、散歩中に、お宅から…SLにむかって、元気よく、笑顔でふろう!
きっと、乗客のみなさんも笑顔で楽しんでくれるよ♪
(※安全第一。線路に入ったりしてはいけません。)

11時過ぎと17時過ぎに
白石地区内を通過します

クリスマス号運行日 12/20^土・21^日

津和野稲荷号運行日 1/1^木・2^金・3^土

おもてなし
作戦決定

12月21日(日)

山口駅 11:09着 ▶ 11:10発

★ 横断幕とサンタでおもてなし♪

★ 集合時間 10時50分 集合場所 山口駅トイレ付近
※白石の旗が目印 ※駐車場はありません。

白石のみなさん
山口駅で
お会いしましょう

キャンドルナイト in 一の坂川 ～日本のクリスマスは山口から～

日時：12月20日(土) 午後3時～5時

場所：市民活動支援センターさぼらんて (道場門前1-2-19 TEL 083-901-1166)

対象：幼児から小学生とその保護者

定員：20組くらい (先着順) 参加無料・申込み不要

内容：☆ランタンの色塗り ☆紙芝居 ☆キャンドルサービス ☆みんなで歌おう!

主催：一の坂川周辺地区ブロック協議会

(問い合わせ：TEL 083-901-1166 さぼらんて気付)



日本防災機構から「防災士」として認証されました!

10月31日(金) 荒高町内会の柳井義途氏、篠原公明氏、大田龍夫氏の3名の方が「防災士」資格取得試験に合格されました。荒高町内会は山口市から自主防災組織として認定されており、盤石な防災体制が整いました。

発災実働訓練実施のお知らせ

2月1日(日) 8:00～荒高町内会・西門前商店街および近隣町内会が合同で発災実働訓練を実施します。



柳井 義途 氏



篠原 公明 氏



大田 龍夫 氏

第2次白石地区地域づくり5年 (平成28年度～32年度)計画策定キックオフ!! 地域づくり計画策定委員会が発足しました!!

11月7日(金)白石地区地域づくり計画策定委員会発足記念として、山口県立大学附属地域共生センターの坂本俊彦教授を講師に招き「地域づくり計画の可能性～課題把握と住民参加～」をテーマに講演会を開催しました。



委員長:内山清輝

【内山委員長就任あいさつ】

この度、委員長に就任いたしました内山清輝です。

地域づくりは地域住民の生活課題を解決するために行うものです。白石地区における生活課題を的確に把握して、その課題を解決するための適切な計画の策定に取り組み、「みんなでつくる健康な笑顔あふれる住みよいまち・白石」を目指して委員全員、一丸となって活動して参ります。

白石地区住民の皆様方のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副委員長:田畑一夫



副委員長:濱西里香

	氏名	所属団体
委員長	内山 清輝	白石地区町内会連合会
副委員長	田畑 一夫	白石地区町内会連合会
副委員長	濱西 里香	白石地区子ども会育成会
	泉 裕樹	白石地区体育協会
	井原 和夫	白石地区老人クラブ連合会
	大原 典子	あじさいの会
	岡崎 京子	食生活改善推進協議会
	岡崎 吉治	白石地区体育協会
	岡村 克祐	白石民生委員・児童委員協議会
	木村 幸子	白石婦人会
	重見 秀和	白石地区体育協会
	竹内 賞一	中部方面隊白石分団
	武谷 弘毅	白石地区社会福祉協議会
	田中 真樹	白石中学校PTA
	鳥羽由美子	白石民生委員・児童委員協議会
	花石 妙子	母子保健推進委員協議会
	原田 澄夫	白石地区町内会連合会
	兵庫 律子	白石地区福祉員協議会
	平川 和文	白石小学校PTA
	柳屋 篤子	あじさいの会
	山根 幹夫	白石地区体育協会
	吉田 和彦	白石地区町内会連合会
	吉永 時恵	白石地区老人クラブ連合会
	吉永 嘉男	白石地区青少年健全育成協議会
	西尾 翔太	山口大学経済学部 鍋山ゼミ
	吉田 純子	白石地区福祉委員協議会

食推だよりその12

減塩レシピ作ってませんか?
～減塩推進事業～

10月31日(金)に減塩料理教室を開催しました。おだしのよい香りの中、皆さん手際よく和気あいあいと作って美味しくいただき、料理のレパートリーがまた一つ増えました!

【予告】来年1月は男性減塩料理教室を開催します。



まわりの大葉ごま味噌焼き

【材料】	(1人分)	(4人分)
ざわら	80g	320g
白みそ	小さじ1/2	小さじ2
A 練りごま	小さじ1/2	小さじ2
砂糖	小さじ1/8	小さじ1/2
酒	大さじ1/4	大さじ1
青じそ	2枚	8枚
白ねぎ	25g	100g

【作り方】

- ①ざわらは酒(分量外)をふりかけ、臭みを抜く。
- ②青じそは盛りつけ用に1人1枚ずつを残してみじん切りにし、Aと混ぜ合わせる。
- ③ねぎは5cmくらいの長さに切る。(1人2本)
- ④①のざわらをペーパーで拭き、皮目に②を塗る。
- ⑤オープンシートを敷いた天板に③のねぎと④を並べ、200度のオープンで20分程度焼く。(様子を見ながら時間は調節してください)
- ⑥ざわらの下に青じそを敷き、付け合わせにねぎを盛って完成。

☆ポイント☆

味噌に練りごまと青じそを混ぜて、風味と香りを効かせながら塩分を抑えました。表面に塗ることでしっかりと味が付き、美味しく食べられます。
カロリー 175kcal 塩分0.5g (1人分)



食推だよりその11

桜海老の炊き込みご飯

【材料】	(4人分)	【作り方】
米	2合	①米は手早く洗い、水に溶かしたスキムミルクを加え、炊飯器の目盛りに合わせて水を入れる。桜海老は熱したフライパンでこがさないようにざっと煎り、炊飯器に入れて炊く。 ②炊きあがったら、ざつくりと混ぜ、器に盛りつける。塩をふり、白ごま、小口切りにした万能ねぎを散らす。
水	適量	
スキムミルク	大さじ4	
桜海老	8g	
塩	小さじ1/4	
白ごま	小さじ1	
万能ねぎ	2本(8g)	



第28回 白石フェスティバルが開催されました!!

11月16日(日)第28回白石フェスティバルが開催されました。当日は天候にも恵まれて4,000人の来場者で賑わい、大盛況でした。

白石地区住民の皆様様の「ふれあいの場」となり、笑顔あふれる楽しいひとときでした。たくさんのご来場ありがとうございました。そしてスタッフの皆さん大変お疲れ様でした。

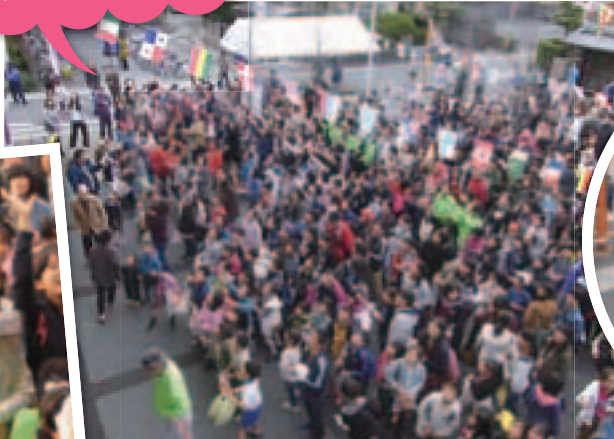


みんな
元気よく!



こっちに
投げて〜

もちまきスタート
いくつ取れるかな?



SL出発
しま〜す



当日の写真を白石地域交流センターロビーに掲示しています
どうぞご自由にお持ち帰りください

SL「やまぐち」号最終運行日記念イベント! おもてなし作戦を決行しました!!

やーっ!!

11月23日(日)小春日和の中、おもてなし作戦を決行しました!!

山口駅待合所では「そまち やしゃちゆう 甕美連合萩組」によるよさこいが披露され、活気あふれる演舞と笑顔で会場は元気に!応援に駆け付けてくださった皆様には感謝の気持ちを込めたミニ花束をプレゼント。そして、来場者全員の笑顔でSL最終運行号の着発を見送りました。足をお運びくださった多くの皆様、ほんとうにありがとうございました。



横断幕で
おもてなし♪



キレイに
できた♪



ミニ花束を
プレゼント



第7回 ^{す ふ ま さ の す け} 周布政之助③ ～安部橋に怪しい二人組～



現在の安部橋

若き長州藩士たちの良き理解者であった周布政之助。前々回・前回と連続で、彼についてのお話をさせていただきましたが、その後、「周布先生のことをもっと知りたい!」そういった多くのお声がございました。そこで今回も彼の従者、松永伊三郎の回想録の中から政之助のエピソードをご紹介します。今回のお話は、前回の「米屋町でアワビが入った鉢ぶち投げ事件」のつづきであります。

中村屋をあとにした政之助と伊三郎は、道場門前の安部橋の近くを歩いておりました。すると、橋の上に「頬かむり」をした怪しげな2人組がいました。

「伊三郎、ちょっと行ってみい」

政之助は伊三郎に指示します。伊三郎は本当は恐ろしかったのですが、政之助の命令なので仕方ありません。恐る恐る近づきます。

「おい、何者じゃ。ここで何をしよる」

すると、2人組が答えます。

「はい、私どもは平井村(山口市平井)の百姓でござります。佐々並(萩市)へ殿様の御用人夫で参り、その帰りがけでござります」

「ほう、それでどうしてここにおるんじゃ」

政之助が尋ねると、彼らはこう答えました。

「はい、私どもは組合の者が5人連れて佐々並に行きましたが、あとの3人がまだ帰ってまいりません。組合の者ですけえ、一緒に帰りませんと内輪の者が気遣いますから、それで一緒に帰ろうと思ひまして、ここで待っておるのでござります」

すると、政之助がこういいました。

「ほう、そりゃあ実に感心なことじゃ。内輪は仲良うせんといけん。組合も仲良うせんといけん。よう気が付いちよる。おい、伊三郎。さぶいけえ酒代をやれ」

政之助がそういうと、伊三郎は政之助の財布から藩札(江戸時代に各藩が独自に領内に発行した紙幣)10匁を1枚取ってこういいました。

「これで酒を一杯飲んだがよい」

そして、政之助が続けます。

「この先に千石屋ちゅう、うどん屋がある。その店で腰を掛けて酒を飲んで待ちよれ。その間に来るじゃろう。じゃが、神妙(感心)な者じゃ…」

そういうと政之助はその場を立ち去りました。

平井村の農民たちは伊三郎に尋ねました。

「あれはどなた様でござります…」

「あれは、吉富(大庄屋・吉富藤兵衛宅)の部屋におられる麻田様(当時政之助は、麻田公輔と名乗っていた)というお役人様じゃ」

「それは恐れ入りました!有難いことであります…」

農民たちは政之助に深く感謝するのであります。

いや～、実に周布先生らしい、人情味あふれ心温まるエピソードでありますの～。

明治維新150年記念講演
「明治維新と山口」が開催されました

11月29日(土)、毛利博物館顧問の小山良昌氏を講師に招き、明治維新150年記念講演「明治維新と山口」が開催されました。



*次回開催のお知らせ*平成27年2月21日(土) 14:00～

地域福祉部会主催 講演会開催

10月28日(火)、山口県立大学社会福祉部の赤羽潔教授を講師に招き「子どもの現在を未来に拓くⅢ～地域に生まれ地域に生きる～」をテーマに講演会を開催しました。今回初めて出席者をグループに分け、子どもたちのために地域として何ができるかグループ討議をしました。活発に意見が出され地域づくりに対する意識を高めることができました。

